



平成24年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年7月8日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 東京個別指導学院

コード番号 4745

URL <http://www.kobetsu.co.jp>

代表者 (役職名)代表取締役社長

(氏名)谷山 和成

問合せ先責任者 (役職名)取締役経営政策本部長

(氏名)舟戸 彰一

TEL : (03)5547-3759

四半期報告書提出予定日 平成23年7月14日

配当金支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年2月期第1四半期の業績 (平成23年3月1日～平成23年5月31日)

(1) 経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|-------|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年2月期第1四半期 | 2,275 | △18.3 | △704 | — | △702 | — | △424 | — |
| 23年2月期第1四半期 | 2,782 | △6.9 | △576 | — | △574 | — | △608 | — |

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年2月期第1四半期 | △7.82 | — |
| 23年2月期第1四半期 | △10.41 | — |

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 24年2月期第1四半期 | 7,254 | 6,121 | 84.4 | 112.75 |
| 23年2月期 | 8,129 | 6,763 | 83.2 | 124.57 |

(参考) 自己資本 24年2月期第1四半期 6,121百万円 23年2月期 6,763百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|----------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年2月期 | — | 4.00 | — | 4.00 | 8.00 |
| 24年2月期 | — | — | — | — | — |
| 24年2月期 (予想) | — | 3.00 | — | 3.00 | 6.00 |

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成24年2月期の業績予想 (平成23年3月1日～平成24年2月29日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|--------|------|------|-------|------|-------|-------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期累計期間 | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 通期 | 12,422 | △9.5 | 250 | △68.6 | 252 | △68.5 | 125 | △20.5 | 2.32 |

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

* 第2四半期累計期間については業績予想の開示を行っておりません。(詳細は【添付資料】P.3をご覧ください。)

4. その他 (詳細は【添付資料】P. 3「その他の情報」をご覧ください。)

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無
 (注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無
 ② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|--------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ①期末発行済株式数(自己株式を含む) | 24年2月期1Q | 54,291,435株 | 23年2月期 | 58,868,186株 |
| ②期末自己株式数 | 24年2月期1Q | －株 | 23年2月期 | 4,576,751株 |
| ③期中平均株式数(四半期累計) | 24年2月期1Q | 54,291,435株 | 23年2月期1Q | 58,505,160株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりますが、この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、現時点で得られた情報に基づき判断した見通しであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は、状況の変化によって予想数値と異なる場合があります。業績予想に関しましては、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------|------|
| 1. 当四半期の業績等に関する定性的情報 | P. 2 |
| (1) 経営成績に関する定性的情報 | P. 2 |
| (2) 財政状態に関する定性的情報 | P. 2 |
| (3) 業績予想に関する定性的情報 | P. 3 |
| 2. その他の情報 | P. 3 |
| (1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 | P. 3 |
| (2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 | P. 3 |
| (3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 | P. 3 |
| 3. 四半期財務諸表 | P. 4 |
| (1) 四半期貸借対照表 | P. 4 |
| (2) 四半期損益計算書 | P. 6 |
| (第1四半期累計期間) | P. 6 |
| (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 | P. 7 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | P. 8 |
| (5) セグメント情報 | P. 8 |
| (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | P. 8 |
| 4. 補足情報 | P. 9 |
| 販売実績 | P. 9 |

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

（1）経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間におけるわが国の経済は、海外経済の改善などを背景に緩やかな回復基調にありましたが、平成23年3月11日に発生した東日本大震災及び原子力発電所の諸問題などの影響により、企業活動の低迷や個人消費の自粛ムードなどが広がるなど、引き続き景気回復の先行きは不透明な状況にあります。

このような状況のもとで、当社は、生徒一人ひとりの目標達成を支援することを最重点方針に講師・授業・運営品質の向上に努め、「生徒第一主義」を深化させ、保護者の方から「子どものことをこれだけわかってくれて、成長させてくれるところはないですね」と言っていただけで、より具体的な実行策を立て、個別指導塾業界のトップ企業を目指しました。

売上高につきましては、新規生徒獲得のための営業活動を積極的におこないましたが、震災により首都圏において春期講習会の中止、ならびに販売活動を自粛いたしました影響が大きく当第1四半期会計期間の売上高は2,275百万円（前年同期比18.3%減）となりました。

損益面におきましては、地代家賃、経費の圧縮などに努めたものの減収の影響が大きく、営業損失は704百万円（前年同四半期は営業損失576百万円）、経常損失は702百万円（前年同四半期は経常損失574百万円）、四半期純損失は424百万円（前年同四半期は四半期純損失608百万円）となりました。

当社の四半期業績の特性として、夏、冬、春の講習会時期及び2月、3月、4月に生徒募集活動を活発に行っており、生徒数及び売上高は増加する傾向にありますが、経費面で生徒募集のための広告宣伝費、人件費及びその他経費も同期間に集中して発生しております。その結果、当四半期（平成24年2月期第1四半期）は、営業損失を計上しているものの、当初の計画に対しては概ね順調に推移しております。

（2）財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期会計期間末における総資産は前事業年度末に比べ875百万円減少し、7,254百万円となりました。資産の増減の主なもの、現金及び預金の減少額1,094百万円、営業未収入金の減少額99百万円であります。負債は前事業年度末に比べ233百万円減少し、1,132百万円となりました。これは主に未払金及び買掛金の減少額205百万円によるものであります。純資産は前事業年度末に比べ641百万円減少し、6,121百万円となりました。これは主に剰余金の配当金217百万円、四半期純損失424百万円を計上したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ1,094百万円減少し、当第1四半期末には4,305百万円となりました。

また、当第1四半期会計期間末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの原因は、次のとおりであります。

〔営業活動によるキャッシュ・フロー〕

営業活動の結果、支出した資金は836百万円（前年同四半期会計期間は990百万円の支出）となりました。

これは主に、新規生徒の獲得を積極的に行いましたが、震災の影響もあり生徒数は低調に推移し営業損失を計上したこと及び法人税等の支払い等をおこなったことによるものであります。

〔投資活動によるキャッシュ・フロー〕

投資活動の結果、支出した資金は60百万円（前年同四半期会計期間は8百万円の支出）となりました。

これは主に、教室移転の既存入居先から敷金及び保証金の返還による収入があったものの、教室移転に伴う新規入居先への敷金及び保証金、有形固定資産の取得による支払いをおこなったことによるものであります。

〔財務活動によるキャッシュ・フロー〕

財務活動の結果、支出した資金は197百万円（前年同四半期会計期間は601百万円の支出）となりました。

これは主に、配当金の支払いをおこなったことによるものであります。

（3）業績予想に関する定性的情報

平成23年5月20日に発表いたしました、「平成24年2月期業績予想及び配当予想に関するお知らせ」について変更はございません。

第2四半期累計期間の業績予想については、当期期首に発生した東日本大震災が業績に与える短期的な影響を見積もることが困難なため、開示しておりません。

なお、今後の経営環境等の変化により、業績予想について見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. その他の情報

（1）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

記載すべき重要な事項はありません。

（2）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

（3）継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 当第1四半期会計期間末 (平成23年5月31日) | 前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成23年2月28日) |
|------------|-----------------------------|--------------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 4,305,626 | 5,399,948 |
| 営業未収入金 | 117,219 | 216,430 |
| たな卸資産 | 47,065 | 55,291 |
| その他 | 662,511 | 352,379 |
| 貸倒引当金 | △16,637 | △14,551 |
| 流動資産合計 | 5,115,785 | 6,009,498 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 254,748 | 220,351 |
| 無形固定資産 | 183,585 | 180,035 |
| 投資その他の資産 | | |
| 敷金及び保証金 | 978,345 | 996,882 |
| その他 | 721,945 | 722,993 |
| 投資その他の資産合計 | 1,700,290 | 1,719,875 |
| 固定資産合計 | 2,138,623 | 2,120,261 |
| 資産合計 | 7,254,409 | 8,129,760 |

(単位：千円)

| | 当第1四半期会計期間末 (平成23年5月31日) | 前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成23年2月28日) |
|---------|-----------------------------|--------------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 9,192 | 63,721 |
| 未払法人税等 | 4,823 | — |
| 賞与引当金 | 121,230 | 86,230 |
| 役員賞与引当金 | 3,060 | 2,689 |
| その他 | 983,335 | 1,200,371 |
| 流動負債合計 | 1,121,641 | 1,353,013 |
| 固定負債 | | |
| リース債務 | 4,145 | 4,724 |
| その他 | 7,085 | 9,007 |
| 固定負債合計 | 11,230 | 13,732 |
| 負債合計 | 1,132,872 | 1,366,746 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 642,157 | 642,157 |
| 資本剰余金 | 1,013,565 | 1,013,565 |
| 利益剰余金 | 4,465,814 | 6,224,730 |
| 自己株式 | — | △1,117,440 |
| 株主資本合計 | 6,121,537 | 6,763,013 |
| 純資産合計 | 6,121,537 | 6,763,013 |
| 負債純資産合計 | 7,254,409 | 8,129,760 |

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年5月31日) | 当第1四半期累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日) |
|---------------------|---|---|
| 売上高 | 2,782,998 | 2,275,033 |
| 売上原価 | 1,922,087 | 1,750,478 |
| 売上総利益 | 860,911 | 524,554 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,437,228 | 1,228,799 |
| 営業損失(△) | △576,317 | △704,245 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 4,167 | 516 |
| 未払配当金除斥益 | — | 1,075 |
| その他 | 132 | 260 |
| 営業外収益合計 | 4,299 | 1,852 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 48 | 36 |
| 支払手数料 | 2,148 | — |
| 営業外費用合計 | 2,197 | 36 |
| 経常損失(△) | △574,215 | △702,429 |
| 特別利益 | | |
| その他 | 68 | — |
| 特別利益合計 | 68 | — |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | — | 10,438 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 434,088 | — |
| その他 | 6,250 | — |
| 特別損失合計 | 440,338 | 10,438 |
| 税引前四半期純損失(△) | △1,014,484 | △712,868 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 2,274 | 1,173 |
| 法人税等調整額 | △407,854 | △289,731 |
| 法人税等合計 | △405,579 | △288,557 |
| 四半期純損失(△) | △608,905 | △424,310 |

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第1四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年5月31日) | 当第1四半期累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日) |
|---------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前四半期純損失(△) | △1,014,484 | △712,868 |
| 減価償却費 | 20,702 | 26,424 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 434,088 | — |
| 長期前払費用償却額 | 6,115 | 9,893 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | 4,114 | 2,085 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 7,200 | 34,999 |
| 役員賞与引当金の増減額(△は減少) | — | 371 |
| 会員権評価損 | 6,250 | — |
| 受取利息及び受取配当金 | △4,167 | △516 |
| 支払利息 | 48 | 36 |
| 固定資産除却損 | — | 10,438 |
| 支払手数料 | 2,148 | — |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 74,014 | 99,210 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | 17,276 | 8,226 |
| その他流動資産の増減額(△は増加) | 4,005 | 115 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 165 | △54,529 |
| 前受金の増減額(△は減少) | △2,721 | △7,018 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | 737 | 9,666 |
| その他流動負債の増減額(△は減少) | △329,882 | △263,553 |
| 小計 | △774,388 | △837,018 |
| 利息及び配当金の受取額 | 3,136 | 739 |
| 利息の支払額 | △48 | △36 |
| 法人税等の還付額 | 8 | 477 |
| 法人税等の支払額 | △219,664 | △257 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △990,956 | △836,096 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △3,297 | △45,061 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △6,551 | △21,510 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | △22,269 | △33,301 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 26,257 | 42,137 |
| 長期前払費用の取得による支出 | △306 | △2,508 |
| その他 | △2,538 | — |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △8,704 | △60,244 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| リース債務の返済による支出 | △555 | △567 |
| 自己株式の取得による支出 | △446,616 | — |
| 配当金の支払額 | △154,812 | △197,414 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △601,984 | △197,981 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △1,601,646 | △1,094,321 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 3,734,825 | 5,399,948 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 2,133,179 | 4,305,626 |

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）セグメント情報

当第1四半期累計期間（自 平成23年3月1日 至 平成23年5月31日）

当社の報告セグメントは、個別指導塾事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（追加情報）

当第1四半期会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月31日）を適用しております。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

自己株式の消却

当社は、平成23年5月20日開催の取締役会の決議に基づき、平成23年5月31日に自己株式4,576,751株を消却いたしました。この結果、利益剰余金が1,117,440千円減少し、自己株式が1,117,440千円減少しております。

4. 補足情報

販売実績

[学生区分別売上高明細表]

| | 当第1四半期累計期間 | 前年同四半期比 |
|-----|-------------------------------|---------|
| | (自 平成23年3月1日 至 平成23年5月31日) | |
| | 千円 | % |
| 小学生 | 239,340 | 79.4 |
| 中学生 | 943,784 | 89.3 |
| 高校生 | 1,091,907 | 76.7 |
| 合計 | 2,275,033 | 81.7 |

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。